

2009年10月1日

「第24回世界ガス会議」への参加について

社団法人 日本ガス協会

「第24回世界ガス会議」が、10月5日（月）～9日（金）（現地時間）に、アルゼンチンのブエノスアイレスにおいて開催され、日本ガス協会（会長：市野紀生）も参加します。

「世界ガス会議」は、国際ガス連盟（IGU）＜注1＞が3年ごとに活動の集大成として開催する国際会議です。ガス体エネルギーが関係する技術・環境・社会等あらゆる側面からの研究発表・議論を行うとともに、最新の技術・商品を紹介するビジネス展示（世界ガス会議展示会）を行い、活発な議論と情報交換の場を提供することを目的としています。

今回の会議は「地球規模でのエネルギーの挑戦：天然ガス戦略の展望」をメインテーマに開催されます。地球規模での対応が急務となっている温暖化対策への関心が高まる中、環境負荷が少ないクリーンなエネルギーである天然ガスの更なる普及について、ガスの掘削、輸送、供給、利用など上流部門から下流部門までに渡り議論を行う予定です。ガス体エネルギー産業の経営トップ、エコノミスト、科学者、技術者等が参加します。

日本ガス協会からは、市野会長が出席し「アジア太平洋地域の持続可能な発展に向けたガス産業の地域協力」と題した基調講演を行う予定です。

また日本ガス協会は、会員事業者とともに、各分野におけるパネルディスカッションや論文発表などを行う予定です。

＜注1＞国際ガス連盟（IGU）

エネルギー、環境、国際協力、技術等の分野において、世界のガス産業が発展・振興することを目的として1931年に設立。

対象となる産業は、ガス体エネルギーに係る探鉱・採掘・貯蔵といった上流部門から、輸送・供給、利用といった下流部門に至るまで、広範な領域にわたる。

IGUの正会員は国または地域を代表する団体によって構成されており、日本の正会員は日本ガス協会。

以上

(参考1)

### 第24回世界ガス会議の概要

1. 開催日：2009年10月5日（月）～9日（金）
2. 開催場所：アルゼンチン・ブエノスアイレス
3. 会議テーマ：  
“The Global Energy Challenge :  
Reviewing the Strategies for  
Natural Gas”  
(地球規模でのエネルギーの挑戦：天然ガス戦略の展望)
4. 参加予定国・地域：世界の約80カ国・地域
5. 日本からの参加予定団体・事業者：(社)日本ガス協会、ガス事業者、  
その他エネルギー関連団体・企業
- 6：公式ホームページ：<http://www.wgc2009.com/>

(参考2)

### 世界ガス会議開催実績

	第21回	第22回	第23回
開催期間	2000年 6月6日～9日	2003年 6月1日～5日	2006年 6月5日～9日
開催地	・フランス ニース	・日本 東京	・オランダ アムステルダム
参加者数	約5000人	約5200人	約3900人
参加国・地域	85カ国・地域	73カ国・地域	88カ国・地域